

## 【ご参考】 2019年3月期 決算短信 補足資料

### 1. 当期連結業績の概要

<b>【業績】</b>	
売上高	1,258億円（前期比 79億円増収）
US\$ 1.68円の円高、EUR 2.79円の円安、THB 0.09円の円安により、売上高 0.6億円増加	
営業利益	75億円（前期比 24億円増益）
経常利益	98億円（前期比 28億円増益）
親会社株主に帰属する当期純利益	97億円（前期比 37億円減益）
<b>【連結の範囲】</b>	
連結会社	23社（1社増加）
持分法適用会社	4社（増減なし）
<b>【特別損益】</b>	
特別利益	28.4億円：固定資産売却益 27.9億円
特別損失	2.8億円：固定資産処分損 2.6億円
<b>【期末配当金】</b>	
期末配当	50円/株（年間 90円/株）（前期年間 70円/株）

#### (1) 業績推移

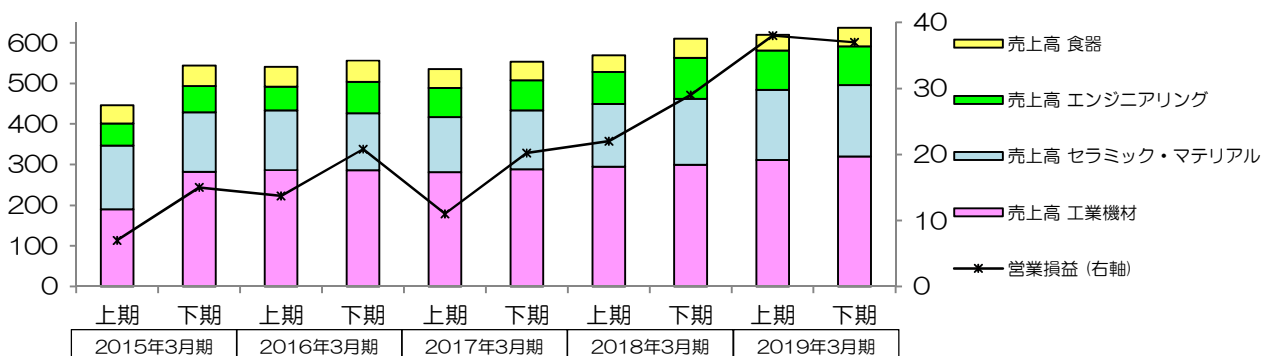
（単位：億円 四捨五入）

		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	対前期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	472	572	570	594	632	38
	セラミック・マテリアル	304	288	280	317	348	31
	エンジニアリング	118	135	146	180	193	13
	食器	96	101	92	88	85	△3
		990	1,096	1,088	1,179	1,258	79
営業利益	工業機材	9.0	17.2	10.3	17.4	23.3	5.9
	セラミック・マテリアル	15.4	16.1	18.8	26.5	36.9	10.4
	エンジニアリング	2.8	4.7	9.9	15.2	22.3	7.1
	食器	△5.3	△3.5	△7.8	△8.2	△7.7	0.5
		21.9	34.5	31.2	51.0	74.8	23.8
(売上高営業利益率)		(2.2%)	(3.1%)	(2.9%)	(4.3%)	(5.9%)	-
経常利益		33.9	47.8	48.6	69.9	97.6	27.7
親会社株主に帰属する当期純利益		20.6	44.1	41.1	134.3	97.1	△37.2
1株当たり当期純利益		143.40円	307.32円	286.12円	935.57円	675.77円	-
1株当たり純資産		5,495.89円	5,345.27円	5,846.51円	6,941.38円	7,219.82円	-
US\$ 為替レート		106.5円	121.0円	109.4円	112.0円	110.4円	-

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2015年3月期-2019年3月期）

単位:億円

単位:億円



**(2) 設備投資及び減価償却費**

(単位：億円 四捨五入)

	2018年3月期		2019年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	14	22	17	20
セラミック・マテリアル	16	8	23	9
エンジニアリング	1	2	2	1
食器	3	3	2	3
管理部門	10	6	9	6
合計	44	40	53	41

**(3) 有利子負債**

(単位：億円 四捨五入)

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	対前期比
有利子負債	303	282	231	131	48	△ 83
現金及び預金	125	107	113	185	141	△ 44
ネット有利子負債	178	175	119	△ 54	△ 93	△ 39

**2. 2020年3月期の計画****(1) 重点施策****【工業機材事業】**

- 中国、タイ、北米などの海外生産拠点の増強と、販売拠点の新設や他社との協業による海外市場の開拓を進め、グローバルな事業体制を構築します。
- 商品競争力の強化により、自動車・鉄鋼・ベアリングといった重点分野でのシェア拡大を図るとともに、自動車の電動化、IoTなどに対応した新商品開発により、新分野、拡大分野での市場獲得を進めます。
- グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売体制を構築します。

**【セラミック・マテリアル事業】**

- 電子ペースト事業では、高速通信などの最先端の電子部品に対応した商品開発を推進し、国内外の重要顧客でのシェア拡大を図るとともに、海外での新規顧客の開拓を進めます。
- セラミックス事業では、石膏とセラミックコアの生産能力の増強と海外市場の開拓、触媒担体の性能改良と次世代商品の開発、中小型表示機・タッチスイッチの新市場開拓を推進します。
- 電子部材は、積層コンデンサ用材料の生産能力増強によるシェア拡大や新商品開発に取り組みます。

**【エンジニアリング事業】**

- エネルギー分野、自動車分野、エレクトロニクス分野での新商品・新技術開発と新用途開拓による拡販を進めます。また、新素材や化粧品など新しい分野への参入と新用途展開に取り組みます。

**【食器事業】**

- 国内では、流通販路の再整備、ネット販売の強化、ホテル・レストラン向けの業務用食器の販売強化を図ります。海外では、米国市場の収支改善と、成長が期待されるアジア市場の販売拡大を推進します。

**【設備投資金額】**

設備投資 80億円 減価償却費 45億円

**(2) 業績予想**

(単位：億円 四捨五入)

	2019年 3月期	2020年3月期 業績予想				
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	632	310	325	635	3
	セラミック・マテリアル	348	165	180	345	△ 3
	エンジニアリング	193	95	85	180	△ 13
	食器	85	40	40	80	△ 5
		1,258	610	630	1,240	△ 18
営業利益	工業機材	23.3	9	14	23	△ 0
	セラミック・マテリアル	36.9	12	13	25	△ 12
	エンジニアリング	22.3	8	7	15	△ 7
	食器	△ 7.7	△ 3	△ 4	△ 7	1
		74.8	26	30	56	△ 19
経常利益		97.6	37	41	78	△ 20
親会社株主に帰属する当期純利益		97.1	28	27	55	△ 42

(想定為替レート US\$=105円)